

令和8年第3回定例会

一 般 質 問

古 殿 町 議 会

令和8年第3回定例会一般質問通告書順

日付	順 番	議 員 名	党 名
9 月 15 ・ 16 日	1	野 崎 喜 彦	無 所 属
	2	鈴 木 隆	無 所 属
	3	根 本 重 一	無 所 属
	4	松 崎 法 通	無 所 属
	5	佐 川 勇 司	無 所 属
	6	佐 藤 一 夫	無 所 属
	7	岡 部 淳 一	日 本 共 産 党

番号	質問者	質問事項	要 旨
1	4 番 野崎 喜彦	1. 令和8年度の主な事業の進捗を問う (町 長)	(1) 地域おこし協力隊2名の確保事業は、どのような進展か。 (2) 公共交通事業コミュニティタクシー運行事業の進捗は。 (3) 水田農業振興事業、農業機械導入助成はどの段階にあるのか。 (4) 道の駅ふるどの拡張事業の拡張工事の進捗と年度末までの工事計画・予定は。 (5) 町営住宅前木団地の供用開始はいつからか。
		2. 防災力の強化と災害対応について (町長・教育長)	(1) 「古殿町地域防災計画」の改訂で主なものは何か。 (2) 災害発生時には、学校と地域、関係公共機関、各種団体などとの連携協力関係の構築、相互に協力し合えるためのマニュアルの作成が必要となると考えます。災害時における地域と学校の連携についてどのように考えているか。 (3) 災害の種別に応じた避難所の設定・開設が重要であると認識していますが、その対応策は。 (4) 行政区ごとの災害発生の種別、もしくは被害想定に沿った避難行動計画などの整備が必要であると考えます。未整備であるとすればその理由は何か。また、今後の対策は。 (5) 8月に関東、北陸地方を中心として発生した記録的な豪雨によって、発表された災害警戒レベル4、5を教訓に、当町で河川等対策として備えるべき対応策は何か。
2	3 番 鈴木 隆	1. 業務委託の考え方について (町 長)	(1) 業務委託しなければならない判断はどのような基準で行っているのか。 (2) 業務委託した成果に対する合否、あるいは見直し等の判断はどうか。 (3) 業務委託に頼ることにより見識が削がれる等、危惧されることはないか。 (4) 各担当業務の見識を高めるために行っていることは何か。

番号	質問者	質問事項	要 旨
2	3 番 鈴木 隆	2. 今後の道路維持の考え方について (町 長)	(1) 今現在の時期、雑草繁茂の視界不良により道路通行の安全確保が難しい町道が毎年見受けられるが、どのように認識しているか。 (2) 県内県道においても同様な状況が、車道のみならず歩道部においても多々見受けられる。町の対応は。 (3) 防草という観点も含めて工事発注された路線もあると認識しているが、町内全域そのような考えで進めていくのか。また、業者発注で維持は充足できると考えるのか。 (4) 路線によっては獣害対策も視野に入れなくてはいけないと思うが、考えは。 (5) 町民の善意に助けられている向きもある。今後は厳しい状況と思うが対策は。
		3. 町行政事務のD X対応状況と職員の充足に対する考えについて (町 長)	(1) 令和2年に総務省による自治体D X推進計画が策定され現在に至るが、行政業務において効率化されたものは主に何か。 (2) マイナンバー制度を活用した業務の中で、諸般の手続き上問題が発生したことはあるか。 (3) マイナンバー制度を活用したコンビニエンスストア連携行政サービスができないのはなぜか。 (4) 環境保全の観点から業務上の紙媒体を極力減らす世情と考えられるがわが町は。 (5) 職員が充足されない状況と聞かれるが、人口減少の状況下、今後の対応は。
3	1 番 根本 重一	1. 本町の人口減少対策について (町 長)	(1) 現在の人口減少を本町としてどのように分析しているか。 (2) 今後、出生数を増やすために、どのような施策を重点的に進めていく考えか。 (3) 進学や就職を機に町外へ転出した若者に、将来戻ってきていただく施策は。 (4) 子育て世帯や若者を町外から呼び込む施策は。 (5) 人口減少対策としての具体的な数値目標を設定しているか。

番号	質問者	質問事項	要 旨
3	1 番 根本 重一	2. 情報公開と情報発信について (町 長)	(1) 必要な情報が「分かりやすく、必要な時に届いているか」という視点で検証しているか。 (2) 一般質問の録画配信を開始したことと、視聴状況をどのように捉えているか。 (3) ホームページの更新は、現在どのような状況か。 (4) 町の「公式ライン」をもっと町民目線で活用できないか。 (5) 「選ばれる古殿町」に向けた情報発信戦略はあるか。
		3. 本町の公共インフラの維持管理について (町 長)	(1) 本町の公共インフラ維持管理の現状は。 (2) 県が進める「包括的維持管理」の導入を検討してはどうか。 (3) 将来のインフラ維持管理体制をどのように構築するのか。
4	9 番 松崎 法通	1. 道の駅拡張工事、事業費とオープンまでの道筋は (町 長)	(1) 現在、物価の高騰が進んでいるが、補助金と自己負担金で道の駅拡張工事、事業資金は今後、若干のインフレを考慮してもまかなえるのか。 (2) 補助率はどれくらいなのか。 (3) ショーケースや冷蔵庫などの付帯備品の購入をどのように考えているのか。 (4) 今後、地下調整池をはじめとする工種ごとの工程はどのようなものなのか。そして、大まかなグランドオープンまでの道筋を伺います。
		2. 道路網の整備と桜の枝の除去、および河川堆砂の除去の対応は (町 長)	(1) 町道陣場辺川線を改良拡幅し、田口まで延長して道路網の整備をするべきと思うが、町ではどのように考えているのか。 (2) 町道横川古町線河川堤防に植えられた桜の枝が張り出して、車両の通行に支障があるが、張り出した枝の除去を考えているのか。 (3) 町では町道竹貫古殿線は一級路線と認定しているが、改良拡幅の考えはあるのか。 (4) 竹貫千足地区から横小路橋の間の河川の堆砂および大平川、寺作橋から鮫川合流地点までの堆砂の除去を河川管理者にどのように要望しているのか。

番号	質問者	質問事項	要 旨
5	5 番 佐川 勇司	1. 高齢者居住施設の 取り組みについて (町 長)	(1) 町内 6 5 歳以上の単身世帯と 2 人以上世帯はどれくらいか。 (2) 町内で緊急搬送車両通行困難箇所はあるか。 (3) 現在の施設利用状況はどのようなか。 (4) 利用希望者から利用料金の見直しなどの要望はあるか。 (5) 今後、状況に応じ町内に留まらず広域的な利用募集など検討されてはどうか。 (6) 施設活用の取り組みを、今後どう進めるか。
6	6 番 佐藤 一夫	1. 岡部町政 2 4 年間の 検証と統括 (町 長)	(1) 6 期、2 4 年近く町政を担ってこられた原動力や要因は何か。また、幾多の試練もあったと思うが、自分自身の目指した町づくりの達成度の手ごたえは。 (2) 様々な施策の実績から特に思い入れがあるものは何か。その上で実施に向け苦慮した施策は何か。 (3) ハード的な施策、ソフト的な施策、いずれも町民福祉向上、町の発展に欠かせない事業だったと思うが、中には反省すべき点もあったのか。 (4) 長期に町政を担当することに賛否、またメリット、デメリットの意見があることは承知していると思いますが、町長自身の捉え方は。 (5) すでに過疎、少子高齢化が進んでいる中で、わが町がたどる将来像を危惧していますが、町長として今後取り組むべき課題は何かが必要だと思いますか。
7	7 番 岡部 淳一	1. 少子化による教育 環境の変化に伴う 町の考え方と方向性 (町長・教育長)	(1) 全国人口減少率 10%、県内 2 3 町の減少をどう見るのか。 (2) わが町の人口減少率と少子化についての認識は。 (3) 適正規模、適正配置など教育環境の変化をどう見ているのか。 (4) 市町村の枠を超えた学校運営は必要と考えているのか。 (5) 必要だとすれば町の基本的な考え方の方向性は何か。 (6) この状況下で中学校の建て替えをどう考えるべきなのか。 (7) 大規模災害が頻発している避難所としての体育館エアコン設置は。 (8) 地方自治体の変化の中で国と県の役割とは何か。 (9) 今後の町づくりをどうしたいと考えているのか。

番号	質問者	質問事項	要 旨
7	7 番 岡部 淳一	2. 国や県に地方の声 はどう届けられて いるのか (町 長)	(1) 国や県との話し合いや協議の場はどんな形で設けられているのか。 (2) 協議の場では地方の実情を聞くのか、それとも何か示されるのか。 (3) 協議の前に石川町村会としての要望取りまとめは行われるのか。 (4) 大規模災害などの発生に関してどんな要望を出しているのか。 (5) 道路事情の中で349号未改良区間および県道改良の見通しは。 (6) 今、町が喫緊の課題として要望していることは何か。